



子ども感染症情報

14.9.9
週報第505号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第36週(9/1~9/7)※	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	17	↓
溶連菌咽頭炎	1	↓
ヘルパンギーナ	11	↓
手足口病	1	↑
水痘	0	↓
流行性耳下腺炎	0	→
突発性発疹	3	↓
伝染性紅斑	0	↓
RSウイルス	0	↓

(参考) 秋田県の状況 ※ 第35週(8/25~8/31)
<全県の発生状況>
1位: ヘルパンギーナ (全県で前週より7%増加)
2位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より6%減少)
3位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より16%増加)
4位: 急性出血性結膜炎
5位: 突発性発しん
北秋田、由利本荘地域 警報: ヘルパンギーナ
秋田市 警報: 急性出血性結膜炎
横手地域 警報・注意報 ありません

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

夏かぜ様疾患について

例年 10月下旬頃まで流行が続きます

●夏かぜ様疾患 …… ヘルパンギーナ・手足口病・咽頭結膜熱 など

原因となるウイルスの種類が多いため、主要な型が入れ変わりながら毎年のように流行します。

●県内ではヘルパンギーナの流行が拡大

検査によると、昨年検出されていないウイルスが今年検出されており、免疫を持つ人が少なく流行が起きやすい状況にあると考えられます。

★ 横手地域では大きな流行はありませんが、注意していきましょう。
手洗い・うがい・体調管理(栄養、睡眠)を心がけましょう。★

横手地域・学校欠席者情報(9/8)

疾患名	感 染 性 胃 腸 炎	イ ン フ ル エ ン ザ	水 痘	マ イ コ ブ ラ ズ マ	お た ふ く か ぜ	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑
施設 (数)								
保育所・園 (33)	1			4				
小学校 (22)								
中学校 (8)								
高校、他 (7)								

感染症情報収集システムより(人)